

第3章 障がい者保健福祉計画の施策展開

分野1 理解促進

〈現状と課題〉

共生社会の実現のためには、市民や企業など広く社会全体に、障がいのある人に対する理解促進を一層進めていく必要があります。

そのためには、障害者基本法をはじめとした障がい福祉に関する制度等の普及を図るほか、障がい当事者による普及・啓発活動を一層推進するとともに、子どもの頃から、障がいに対する理解が深まるような取組を進める必要があります。

〈平成25年度障がい児者実態等調査から〉

障がい者への理解が深まるために必要なこと

- 福祉教育の充実（障がい者調査 45.9%、障がい児調査 64.5%、難病患者調査 70.8%）
- ボランティアの育成（障がい者調査 35.9%、障がい児調査 35.3%、難病患者調査 53.0%）
- 障がいのある人となない人が一緒に教育できる場（障がい児調査 70.6%）

◆基本方針

基本方針1 障がいのある人もない人も、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の理念の普及を図ります。

- 基本方針 2 地域社会に、障がいのある人に対する理解を促進します。
- 基本方針 3 市民や企業の自主的な福祉活動を支援・推進し、理解促進を図ります。

◆基本施策

- 基本施策 1 啓発・広報活動、福祉教育などの推進
- 基本施策 2 公共サービス従事者などに対する理解促進
- 基本施策 3 ボランティア活動・社会貢献活動の理解促進

基本施策 1 啓発・広報活動、福祉教育などの推進

- 市民が地域と関わりを持ち、障がいのある人を地域全体で支えていくという意識が高まるよう、様々な手法を用いて、広く地域社会に対して障がい福祉に関する理解促進を図ります。
- 子どもの時から、障がいのある人に対する理解が深まるよう、福祉教育の充実を図ります。
- 障害者週間記念事業や文化・芸術イベント、その他様々な行事等を通じ、障がいのある人とない人の交流を促進します。

＜重点取組＞

◆広報誌、広報番組、ホームページなどを通じた広報

広く地域住民に対して、障がい福祉に関する理解促進を一層進め、障がい福祉施策等について積極的に広報することで、障がい福祉の向上を図ります。

◆ 出前講座や普及啓発用冊子等を活用した啓発・広報

地域に出向いて、障がい福祉に関する取組などについて紹介すること
で、市民のみなさんと情報共有を行い、障がい福祉について一緒に
考えていきます。

また、普及啓発用冊子を様々な機会配布することにより、障がい者理解の促進を図ります。

◆ 福祉教育のための教材の作成・配布（福祉読本など）

学校教育において障がいのある人に対する理解を深めてもらうため、福祉読本を作成し、市内の小学校に配布し、授業に役立てます。

◆ 障害者週間記念事業の実施

障がい者福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者の社会参加を一層促進するため、障害者週間（12月3～9日）の期間中、啓発事業等を行います。

基本施策 2 公共サービス従事者などに対する理解促進

○ 公共サービス事業者等に対して、地域福祉に関心と理解を深めてもらうため、各種研修の実施など理解促進の取組を進めます。

＜重点取組＞

◆ 福祉サービス提供事業者等に対する研修の充実

福祉サービス提供事業者等を対象に、サービス提供に係る技術的な支援や質の向上を図ることを目的とした研修を

じっし
実施します。

◆しょうとうじしゃこうしはけん 障がい当事者の講師派遣

しょうとうじしゃこうし ようせい とうろく こうし かた がっこう き
障がい当事者を講師として養成・登録し、その講師の方を学校、企
ぎょうとう はけん こうぎ でいすかつしよんとう おこな きかい かくじゅう
業等に派遣して、講義やディスカッション等を行う機会を拡充する
ことで、しょう ひと たい りかいそくしん はか
障がいのある人に対する理解促進を図ります。

基本施策3 ボランティア活動・社会貢献活動の理解促進

かくしゅけんしゅう じっし さまざま ぼらんていあかつどう しみん しょうかい
○各種研修の実施や様々なボランティア活動を市民に紹介することによ
り、ちいきふくしかつどう ふきゅう けいはつ つと
地域福祉活動の普及・啓発に努めます。

じゅうてんとりくみ 〈重点取組〉

◆ぼらんていあかつどう しえん ボランティア活動への支援

ちいきふくしかつどう にな じんざい いくせい ししつこうじょう はか かくしゅけんしゅう
地域福祉活動を担う人材の育成・資質向上を図るため、各種研修の
じっし ちょうさ じょうほうていきょう ぼらんていあ かん そうだん しえん じっし
実施や調査、情報提供、ボランティアに関する相談・支援などを実施
します。

◆まちづくり活動への支援 (市民活動サポートセンターの運営・さぽー とほっと基金)

しょう ひと たいしょう ほけん いりょう ふくし ぶんや かつどう おこな
障がいのある人などを対象に保健・医療・福祉分野の活動などを行
う市民活動団体に対して、たい しえん じっし
支援を実施します。

※さぽーとほっと基金 (市民まちづくり活動促進基金)

しみん きふ げんし しみんだんたい じぎょうじょせい おこな
市民からの寄附を原資に、市民団体への事業助成を行うと
ともに、きふぶんか じょうせい はか
寄附文化の醸成を図ります。

かんれんけいかく ぶん や り かいそくしん
関連計画 (分野 1 : 理解促進)

さっぽろ し ち いきふく し しゃかいけいかく
◆札幌市地域福祉社会計画

さっぽろ し し みるん かつどうそくしん き ほんけいかく
◆札幌市市民まちづくり活動促進基本計画

げんじょう かだい
〈現状と課題〉

ふくし さーびす たい に ー ず た よう か と も な こ こ けー す
福祉サービスに対するニーズの多様化に伴い、個々のケースに
おう し えん ら い ふ す て ー じ おう いっかん し えん もと
応じた支援や、ライフステージに応じた一貫した支援が求められ
ているほか、これからの地域福祉を担う人材の育成が求められて
います。

じゅうどしょう ひと はったつしょう ひと ちいき せいかつ
重度障がいのある人、発達障がいのある人が地域で生活してい
くための支援体制や、障がいのある人が高齢になっても安心して
暮らすことができるような支援体制を充実する必要があります。

しょう ひと しゃかいさん か そくしん ひつよう い どうしゅだん かくほ
障がいのある人の社会参加促進のため、必要な移動手段の確保
が求められています。

へいせい ねん ど しょう じ しゃじったいとうちょうさ
〈平成 25 年度障がい児者実態等 調査から〉

きぼう せいかつ
希望する生活のためにあればいいこと

- ・ 高齢になっても安心して生活できること (障がい者調査
45.7%、障がい児調査 38.0%、難病患者調査 52.7%)
- ・ 困ったときに相談できて教えてくれる場所 (障がい者調査
36.9%、障がい児調査 34.9%、難病患者調査 39.8%)

きほんほうしん
◆基本方針

きほんほうしん しょう ひと じ こ けってい じ こ せんたく そんちょう
基本方針 1 障がいのある人の自己決定、自己選択を尊重し、
こ こ に ー ず たいおう し えんたいせい せいび
個々のニーズに対応した支援体制の整備と、
さーびす ていきょう きばん いっそう じゅうじつ はか
サービス提供基盤の一層の充実を図ります。

きほんほうしん しょう ひと ちいき あんしん く
基本方針 2 障がいのある人が地域で安心して暮らすこと
ができるよう、関係機関、事業者、ボラン

ていあとう ちいき ふくしりよく れんけい らいふす
 ティア等の地域の福祉力との連携により、ライフス
 てーじ おう きめ そうだんしえん さーびすていきょう
 テージに応じた切れ目のない相談支援・サービス提供
 たいせい じゅうじつ ほか
 体制の充実を図ります。

◆基本施策

- 基本施策 1 ここに ーず たいおう しえんたいせい さーびすていきょう きばん
 基本施策 1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤
 せいび
 の整備
- 基本施策 2 しせつにゆうしよしゃ せいしんか びょういんにゆういんかんじゃ ちいきせいかつ い
 基本施策 2 施設入所者・精神科病院入院患者の地域生活への移
 こうすいしん
 行推進
- 基本施策 3 ふくしようぐ ふきゅうそくしん りようしえん けんきゅうかいはつしえん
 基本施策 3 福祉用具などの普及促進・利用支援・研究開発支援
- 基本施策 4 ちいきふくし にな じんざいいくせい かくほ
 基本施策 4 地域福祉を担う人材育成・確保

基本施策 1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

- しょうがいしゃそうごう しえんほう もと しょうがいふくし さーびすとう えんかつ ていきょう つと
 ○ 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の円滑な提供に努め
 ます。
- ここに ーず たいおう らいふすてーじ おう いっかん しえん
 ○ 個々のニーズに対応し、ライフステージに応じた一貫した支援ができ
 るよう、相談支援体制や関係機関との連携の充実を図るほか、ボラン
 そうだんしえんたいせい かんけいきかん れんけい じゅうじつ ほか ぼらん
 ティア等の地域福祉力を活用するなど、支援体制の充実に努めます。
- じゅうどしょう ひと いりょうてきけ あ ひつよう ひと たい しえん じゅうじつ
 ○ 重度障がいのある人、医療的ケアが必要な人に対する支援の充実に
 けんとう すす
 ついて検討を進めます。
- はったつしょう ひと かぞく たい かんけいきかん れんけい ほか
 ○ 発達障がいのある人やその家族に対して、関係機関の連携を図りなが
 ら、ライフステージに応じた一貫した支援の充実に努めます。
- なんびょうかんじゃ ひと たい なんびょうとう とくせい いちにち なか びょう
 ○ 難病患者の人に対して、難病等の特性（一日の中での病
 じょう へんか しんこう ふくし に ーずとう おう しょうがいふくし さーびす
 状の変化や進行、福祉ニーズ等）に応じた障害福祉サービス

とう ていきょう つと
等の提供に努めます。

○障がいのある人が高齢になっても地域で安心して生活できるよう、地
いきせいかつ し えんきよてんとう せいび ひつよう し えんたいせい じゅうじつ はか
域生活支援拠点等の整備など、必要な支援体制について充実を図りま
す。

○移動支援事業については、その対象となる外出の範囲等の拡充につい
い どう し えん じ ぎょう たいしやう がいしゆつ はんい とう かくじゅう
て引き続き検討を進めます。

じゅうてんとりくみ 〈重点取組〉

◆ 相談支援事業の充実

しょう ひと ちいき あんしん せいかつ そうだん
障がいのある人が地域で安心して生活することができるよう、相談
し えん じ ぎょうじゅうじつ はか
支援事業の充実を図ります。

相談支援事業所においては、地域支援員を配置して、区役所をは
きんけい きかん ちいきふくし かんけいしゃ れんけい はか ちいき せい
じめとする関係機関や地域福祉関係者との連携を図ったり、地域で生
かつ しょう ひと ぴあさぽーたー はいち とうじしゃしゅたい
活する障がいのある人をピアサポーターとして配置し、当事者主体に
よるかつどう し えん
よる活動を支援します。

また、基幹相談支援センターにおいては、相談支援事業所に対す
きかんそうだん し えん せん た ー そうだん し えん じ ぎょうじょ たい
る専門的な助言、計画相談支援や地域移行・地域定着支援の推進、
せんもんてき じよげん けいかくそうだん し えん ちいきいこう ちいきていちゃくし えん すいしん
ピアサポーターの活動支援を行います。

⇒ しょう ぶくしけいかく ぶ ペーじ らん
⇒ 障がい福祉計画の部（99 ページ）もご覧ください。

◆ 自立支援協議会の運営

かくぶかい ちいきぶかい せんもんぶかい ちゅうしん こべつ に ー ず ちいきか
各部会（地域部会、専門部会）を中心に、個別のニーズから地域課
だい ちゅうしゆつ かいけつ はか もくてき じょうほう きょうゆう けんしゅう かいさい
題を抽出し、解決を図ることを目的として、情報の共有、研修の開催
とう つう かんけい きかんそうご れんけいたいせい きょうか はか ちいき
等を通じて、関係機関相互の連携体制の強化を図るとともに、地域の
し えんたいせい せいび きょうぎ おこな
支援体制の整備について協議を行います。

また、「まちの課題プロジェクトチーム」を設置し、さまざま

まな地域課題の検討・整理を行っています（23 ページ参照）。

- ◆ 障害福祉サービスをはじめとした各種サービスの円滑な提供
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供基盤の充実の
ほか、障がいのある人に対する交通費助成、機能回復・訓練、特別
障害者手当等の支給など、円滑なサービス提供に努めます。

⇒ 障がい福祉計画の部（84 ページ以降）もご覧ください。

- ◆ 重度の障がいのある人に対する支援（パーソナルアシスタンス事業）
重度障がい者の個々の状況やニーズに対応したきめ細かな支援を提
供し、地域で安心して暮らしていくことができるよう、有償ボラン
ティア等の地域福祉力を活用した仕組みを取り入れるなど、介助制度の
充実に努めます。

※ パーソナルアシスタンス事業（札幌市独自の制度）

在宅で生活する重度の身体障がいのある人が、地域住民等か
ら介助を受けた場合に必要となる費用を支給します。

- ◆ 医療的ケアが必要な重度の障がいのある人に対する地域生活支援の
充実の検討

医療的ケアを必要とする重度の障がいのある人が安心して日中活
動等に参加しながら、充実した地域生活を送ることができるよう、
サービス提供基盤の整備について検討します。

- ◆ 障がいのある人の高齢化に対する支援の検討

高齢化により心身の機能が低下した人が地域で安心して生
活できるよう、地域生活支援拠点等を整備するとともに、障

がいしゃそうごう し えんほう かいご ほけんほう さーびす ちゅうしん ぼらんていあとう
被害者総合支援法や介護保険法のサービスを中心に、ボランティア等の
ちいきふくしりよく かつよう し えんたいせい かた ひ つづ けんとう
地域福祉力も活用するなど、支援体制のあり方について引き続き検討
し、支援の充実を図ります。

◆ 移動支援事業の拡充の検討

いどう し えん じぎょう かくじゅう けんとう
移動支援事業については、利用対象となる外出の範囲等について、
しみんに ーず ぶ かくじゅう む けんとう ひ つづ すす
市民ニーズを踏まえ、その拡充に向けた検討を引き続き進めます。

⇒ 障がい福祉計画の部 (104 ページ) もご覧ください。

◆ ボランティア等の地域福祉力を活用した支援体制の充実の検討

ぼらんていあとう ちいきふくしりよく かつよう し えんたいせい じゅうじつ けんとう
障がいのある人が地域で安心して生活できるよう、ボランティア等
しょう ひと ちいき あんしん せいかつ ぼらんていあとう
の地域福祉力を活用した支援体制のあり方について検討します。

◆ 障がい児・者支援施策の再整理・一元化

へいせい ねん がつ しょう じ しゃ かん し さくてんかい ほけんふくし
平成 27 年 4 月から、障がい児・者に関する施策展開を保健福祉
きょく とうごう じ しゃいっかん き め し えん じつげん め ぎ
局に統合し、児・者一貫した切れ目のない支援の実現を目指します。

◆ 要介護者等ごみ排出支援事業 (さわやか収集)

ようかいごしゃとう はいしゅつし えん じぎょう しゅうしゅう
ごみステーションにごみを排出することが困難な高齢者や障がいの
ある人などへの支援として、生活ごみを玄関先から収集したり、大型
ひと し えん せいかつ げんかんさき しゅうしゅう おおがた
ごみを家の中から運び出して収集します。

◆ 発達障害者支援体制整備事業

はったつしょうがいしゃ し えんたいせいせいび じぎょう
個別支援ファイル (サポートファイルさっぽろ (※ 1)) の作成と
こべつし えんぶ あいる さぽーとふあいる さくせい
周知、支援者の人材育成、ペアレントメンター (※ 2)

とう かつよう かぞくし えん ふ きゅうけいはつさっ し さくせい はい ぶん とりくみ
等の活用による家族支援、普及啓発冊子の作成・配布などの取組に
より、はつたつしょう ひと しゃかい じゅうぶんかつやく し えん たいせい
発達障がいのある人が社会で十分活躍できるよう、支援の体制
づくりにと くり 組んで います。

※ 1 サポートファイルさっぽろ

さっぽろし さくせい ふ あ い る ほ ご しゃ こ せい ち ょ う き ろ く
札幌市が作成したファイルで、保護者が子どもの成長を記録し、
かんけい しゃ こ こ せい とく ち ょ う はつたつ けい か き ょ う つ う
関係者がその子どもの個性や特徴、これまでの発達の経過を共通
り かい
理解するためのもの。

※ 2 ペアレントメンター

はつたつしょう こ そだ けいけん い おな なや
発達障がいのある子どもを育てた経験を活かして、同じ悩みを
も おや き も よ そ そうだん う かんけい き かん しょうかい
持つ親たちの気持ちに寄り添い、相談を受けたり関係機関の紹介
などを行う先輩親のこと。さっぽろし へいせい ねん ど ペアレン
と め ん た ー ようせい じぎょう おこな
トメンターの養成事業を行っている。

【参考】 自立支援協議会 まちの課題プロジェクトチーム

さっぽろし じりつし えんきょう ぎ かい かだい ぶ る じ え く と ち ー む
札幌市自立支援協議会に、「まちの課題プロジェクトチーム」を
せつ ち
設置し、さまざまな地域課題の検討・整理を行っています。

〈平成 25 年度検討内容〉

- へ る ば ー ぎ じゆつこうじょう けんしゅうかい かいさい
・ヘルパー技術向上のための研修会開催
- きょういく ふくし れんけい かか か だいけんとうかい
・教育と福祉の連携に係る課題検討会
- し えいじゅうたく たんしんにゆうきょ ふく す か だい
・市営住宅への単身入居を含む住まいの課題

※平成 25 年度活動報告書 ⇒札幌市のホームページを参照。

基本施策 2

しせつにゆうしよしゃ せいしんかびょういんにゆういんかんじゃ ちいきせいかつ いこうすいしん
施設 入 所者・精神科 病院 入院患者の地域生活への移行 推 進

- しょう ひと ちいき あんしん く そうだん し えん
○障がいのある人が地域で安心して暮らすことができるよう、相談支援
たいせい しょうがいふくし さーびすとう ていきょう きばん じゅうじつ はか
体制をはじめ、障害福祉サービス等の提供 基盤の充実を図ります。
- ちいきいこう ちいきていちゃく む しえんたいせい じゅうじつ はか ちいき
○地域移行・地域定着に向けた支援体制の充実を図るほか、地域におけ
る住まいの場の充実を図ります。

じゅうてんとりくみ 〈重点取組〉

◆地域移行支援・地域定着支援

にゆうしよ しせつ せいしん かびょういん ほうもん そうだん しょうがいふくし さーびす じ
入所施設や精神科 病院への訪問による相談、障害福祉サービス事
ぎょうしよとう どうこう し えん じゅうきよ かく ほ にゆうきよ し えん れんらくたいせい
業 所等への同行支援、住居を確保するための入居支援、連絡体制や
きんきゅうたいおう ちいきいこう ちいきていちゃく む とりくみ すいしん
緊急 対応など、地域移行・地域定着に向けた取組を推進します。

⇒ しょう ぶくしけいかく ぶ ページ もごらん
⇒ 障がい福祉計画の部 (93 ページ) もご覧ください。

◆グループホーム等の整備推進

ぐるーぷ ほーむとう せいび すいしん
グループホームの整備費の一部に補助を行うことにより整備を推進
し、地域における居住の場を充実します。

⇒ しょう ぶくしけいかく ぶ ページ もごらん
⇒ 障がい福祉計画の部 (91 ページ) もご覧ください。

◆地域生活の体験支援

しせつ じたく いがい ばしよ ちいきせいかつたいけんしつ しゅくはく ちいきせいかつ たい
施設・自宅以外の場所 (地域生活体験室) に宿泊して地域生活を体
けん けん したたい しょう ひと ちいきいこう そくしん
験していただくことで、身体に障がいのある人の地域移行を促進しま
す。

◆住宅確保要配慮者に対する居住の安定確保の取組 (再掲)

⇒ 38 ページ参照

◆ 入所施設等との情報共有・連携

地域移行の推進を図るため、入所施設の施設長等と課題や先駆的事例等に係る情報・意見交換会を行うことで、関係機関相互に地域移行に関する知識を高めます。

基本施策 3 福祉用具などの普及促進・利用支援・開発支援

○補装具・日常生活用具などの福祉用具の普及と、適切な支給に努めます。

○札幌市内の中小企業者等が行う、健康・福祉関連分野の新製品・新技術の開発を促進します。

重点取組

◆ 補装具費の支給、日常生活用具の給付

障害者総合支援法に基づき、身体に障がいのある人の身体機能を補完または代替し、職業その他日常生活の能率向上を図るため、補装具・日常生活用具を適切に支給します。

⇒ 障がい福祉計画の部（103ページ）もご覧ください。

◆ 福祉用具の普及（展示など）

身体に障がいのある人が用いる補装具、日常生活用具、自助具等の普及を目的に福祉用具の常設展示コーナーを設け、福祉用具に関する各種相談に応じるなど、普及に努めます。

◆札幌型ものづくり開発推進事業

「健康・福祉関連分野」等を対象とした、市内中小企業者が行う新製品・新技術の開発を支援します。

基本施策 4 地域福祉を担う人材育成・確保

○各種研修の実施やボランティア活動に対する支援などを通じて、地域福祉活動を担う人材の育成に努めます。

〈重点取組〉

◆ボランティア活動への支援（再掲）

⇒ 16 ページ参照

◆福祉サービス提供事業者等に対する研修の充実（再掲）

⇒ 15 ページ参照

◆ボランティア等の地域福祉力を活用した支援体制の充実の検討（再掲）

⇒ 22 ページ参照

◆元気なまちづくり支援事業

区や地域の特性を活かした元気で魅力あふれる地域づくりの推進を目的として、区の創意工夫や裁量によって、障がいのある人をはじめ市民が主体的に行う地域課題解決に向けた取組に対する支援を行います。

かんれんけいかく ぶん や せいかつ し えん
関連計画 (分野 2 : 生活支援)

さっぽろ し ち いきふく し しゃかいけいかく
◆札幌市地域福祉社会計画

さっぽろ し じゅうたく ま す た ー び ら ん
◆札幌市住宅マスタープラン 2011

さっぽろ し し みん かつどうそくしん き ほんけいかく
◆札幌市市民まちづくり活動促進基本計画

さっぽろ し さんぎょうしんこう び じ ょ ん
◆札幌市産業振興ビジョン

分野3 保健・医療

〈現状と課題〉

子どもが健やかに育つよう、障がいの原因となる疾病の早期発見が図られる体制や、きめ細かに相談を受けられる体制が必要です。

障がいのある人が身近な地域で安心して適切な医療を受けることができるよう、医療体制の充実や、障がいについての理解を医療機関に対して一層促進する必要があります。

精神に障がいのある人が安心して地域生活を送ることができるよう、精神科医療における救急医療体制の整備を図る必要がありますと考えられます。また、精神障がい者に対する医療費について、その負担軽減を求める声が寄せられています。

◆基本方針

基本方針 1 健康づくりや各種検査に関する普及・啓発を推進し、障がいの原因となる疾病の予防、早期発見・早期療育を図ります。

基本方針 2 障がいのある人に対する保健・医療サービスの充実を図り、地域生活を支援します。

◆基本施策

基本施策 1 障がいの原因となる疾病の予防対策、早期発見

基本施策 2 障がいに対する適切な保健・医療サービスの充実

基本施策 3 精神保健・医療の充実

基本施策 1

障がいの原因となる疾病の予防対策、早期発見

- 保健・医療・福祉の連携により、障がいの原因となる疾病の予防、早期発見を図ります。

重点取組

◆妊婦支援相談事業

妊娠届出書を提出した全妊婦を対象として、障がいの原因となる疾病の予防及び出産後の児童虐待予防のために、母子健康手帳交付時に妊婦と面接し、リスクアセスメント（危機評価）を実施することでハイリスク妊婦を早期に把握し、安心・安全な妊娠、出産のための継続的な支援を行います。

◆母子関連マス・スクリーニング検査

新生児や乳幼児を対象にした障がいの原因となる疾病を早期に発見し、発症を未然に防止するためのマス・スクリーニング検査（集団検査）や、妊婦を対象にした甲状腺機能検査を行い、早期治療に結びつけます。また、母子保健情報を共有化するとともに、医療機関、関連大学医学部、保健所・保健センターおよび衛生研究所との緊密な連携により、迅速かつ適切な患者の診断・治療に結びつけていきます。

◆乳幼児健康診査

4か月児、10か月児（再来）、1歳6か月児、3歳児、5歳児の子どもに対して健康診査を実施することにより、運動機能、視聴覚等の障がい、精神発達の遅滞等を早期に発見し、適切

な指導を行い、心身障がいの進行を未然に防止するとともに、育児に関する指導を行い、もって乳幼児の健康の保持及び増進を図ります。

- ◆子どものころとからだに関する医療提供体制の充実
障がいの原因となる疾病の早期発見、早期療育や重複障がい児への適切な医療支援体制を構築するため、平成27年4月に児童心療センターと発達医療センターの機能を統合した子ども心身医療センターを開設します。

基本施策2 障がいに対する適切な保健・医療サービスの充実

- 心身の障がいの軽減を図る医療や、医療費負担の軽減を目的とする各種給付事業を引き続き行い、障がいのある人に対する医療の充実に図ります。
- 難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）に基づき、難病患者に対する医療の充実に図るとともに、福祉施策等との連携により、相談支援体制の充実に努めます。
- 医療的ケアが必要な重度障がいのある人に対する保健・医療・福祉の連携体制の充実に図ります。
- 札幌市独自の望ましい医療体制の構築に向けた取組を進めます。

重点取組

- ◆自立支援医療費の支給
障がいのある人に対し、その心身の障がいの軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療について、自立支援

いりょうひ てきせつ しきゅう おこな
医療費の適切な支給を行います。

また、自立支援医療に係る適正な費用負担のあり方について、障がいのある人の医療費の負担軽減が図られるよう、国に対して働きかけていきます。

◆ 重度心身障がい者医療費助成

重度心身障がいのある人に対して医療費の一部を助成することで、重度心身障がいのある人の保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図ります。

◆ 医療的ケアが必要な重症心身障がいのある人に対する地域生活支援の充実の検討（再掲）

⇒ 21 ページ参照

◆ さっぽろ医療計画の推進

市民が生涯を通して健康で安心して暮らすことのできる社会の実現に向けた医療体制の構築を基本理念とするさっぽろ医療計画に基づき、基本理念の実現に向けた施策の推進に取り組みます。

◆ 健康さっぽろ21の推進

「市民が地域とのつながりの中で、すこやかに心豊かに生活できる社会の実現」を基本理念としている札幌市健康づくり基本計画「健康さっぽろ21」において、全体目標の一つに「健康格差の縮小」を掲げ、疾病や障がいの有無等にかかわらず、生涯にわたりその人らしくすこやかに生きがいのある社会の実現を目指します。

- 通院による精神科医療に係る自立支援医療費の支給を行い、精神に障がいのある人に対する医療の充実を図ります。
- 精神科医療における救急医療体制の充実を図ります。
- 精神に障がいのある人やその家族に対する相談支援体制の充実を図ります。

重点取組

◆自立支援医療費（精神通院医療）の支給

精神に障がいがあり、通院による精神医療を継続的に要する病状にある人に対し、その通院医療に係る自立支援医療費の支給を行います。

また、自立支援医療に係る適正な費用負担のあり方について、障がいのある人の医療費の負担軽減が図られるよう、国に対して働きかけていきます。

◆精神科救急情報センター運営

精神障がいのある人やその家族から、電話により精神科受診に係る緊急相談を受け、かかりつけ精神科病院又は精神科当番病院の紹介などを行います。また、精神科救急の円滑な推進のため、警察・消防・医療機関等の関係機関との調整を図ります。

◆ほっとけない・こころ推進事業（自殺総合対策事業）

札幌市において年間400人を超える自殺死亡者を一人でも多く減らすため、面談や電話による相談支援、市民一人ひとりが

「ゲートキーパー」(※)になることを目指した人材養成等の各事業をおこな
行います。

※ゲートキーパー

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につな
ぎ、見守る人のことです。特別な資格はいりません。

◆精神科救急医療体制の充実

緊急的に精神科医療を必要とする市民が、迅速かつ適切な医療を受け
ることができるよう、整備された精神科救急医療体制の安
定的な維持と、さらなる充実を図ります。

特に、精神科初期救急医療の取組として平成26年度から札幌市
で導入した全国初の取組となる「こころの安心カード」の普及啓発や、
より円滑な精神科救急医療体制のあり方などを検討します。

関連計画 (分野3：保健・医療)

◆札幌市子ども未来プラン

◆さっぽろ医療計画

◆健康さっぽろ21

◆札幌市自殺総合対策行動計画 (札幌ほっとけない・こころのプラン)

ぶん や せいかつかんきょう
分野 4 生活環境

げんじょう かだい
〈現状と課題〉

へいせい ねん せいいてい ばりあふりーしんぽう へいせい ねん
平成 18 年に制定されたバリアフリー新法をうけ、平成 21 年に
しん さっぽろし ばりあふりーきほんこうそう さくてい しなひ じゅうてんせいび
新・札幌市バリアフリー基本構想を策定し、市内 53 の重点整備
ちく せつてい しせつ ばりあふりーか すいしん
地区を設定し、施設のバリアフリー化を推進しています。

ちいきせいかつ おく しえいじゅうたく ぐるーぷほーむ
また、地域生活を送るうえで、市営住宅やグループホームなど
す まいのば かくほ もと
の住まいの場の確保が求められています。

きほんほうしん
◆基本方針

きほんほうしん すべ しみん あんしん かいてき く すす
基本方針 1 全ての市民が安心して快適に暮らせるまちづくりを進
めます。

きほんしさく
◆基本施策

きほんしさく ばりあふりーもと すいしん
基本施策 1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進
きほんしさく す まいのばかほ
基本施策 2 住まいの確保

きほんしさく
基本施策 1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

- すべ しみん しき つう あんしん あんぜん く
○全ての市民が四季を通じて安心して安全に暮らすことができるよう、
ばりあふりーしんぽう さっぽろしふくし じょうれい もと けんちくぶつ
バリアフリー新法や札幌市福祉のまちづくり条例に基づき、建築物や
どうろ ばりあふりーか すす おお ひと あんぜん かいてき
道路のバリアフリー化を進めるとともに、より多くの方が安全・快適
りょう ゆにばーさるでざいん すす
に利用できるユニバーサルデザインによるまちづくりを進めま
す。

じゅうてんとりくみ
〈重点取組〉

◆福祉のまちづくり推進会議

すべての市民が安心して快適に暮らせるまちづくりを進めるため、市民や事業者等から幅広く意見を聞き、ともに考えながら、福祉のまちづくりを総合的に推進します。

◆優しさと思いやりのバリアフリーの推進

札幌市が新たに施設を整備する際に、障がいのある人や高齢者の力を借りて、人の目や感覚で確認していく「公共施設のバリアフリーチェックシステム」と、多くの人々が利用する建築物の事故を未然に防ぎ、障がいのある人や高齢者にとって安全で使いやすい施設となるように、危険な施設を早期に発見するための「危険施設等通報システム」の運用を行います。

◆バリアフリー基本構想に基づく整備推進

新・札幌市バリアフリー基本構想に基づき、全ての人が安心して暮らし、分け隔て無く社会活動に参加できるまちづくりを目指し、総合的かつ一体的なバリアフリー化をさらに促進します。

◆交通バリアフリー推進事業

障がいのある人や高齢者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性及び安全性の向上の促進を図るため、公共交通事業者が行うバリアフリー化整備について補助を行うことで、各管理者と連携しながら取組を進めます。

◆歩道バリアフリー整備事業

誰もが安心して歩行できる歩道を提供するため、重点的に整備するべき地区の生活関連経路の歩道バリアフリー化を推進します。

◆安全・安心な公園再整備事業

障がいのある人や高齢者など誰もが快適に利用できる公園整備を進めます。出入口・園路差解消や階段の手すり設置、ベンチなどの休憩施設、身障者対応型便所の改修等を行います。

◆市有施設の保全改修に併せたバリアフリー改善の推進

オストメイト対応トイレの設置や点字ブロックの敷設など、既存の市有施設の保全改修に併せて、バリアフリー改善を進めます。

◆地下鉄・市電における安全対策等

地下鉄駅ホームに可動式ホーム柵を設置し、ホームからの旅客転落事故や列車接触事故などを防止することに努め、障がいのある人や高齢者等が安全で安心して地下鉄を利用できるよう取組を進めます。
また、路面電車停留場のバリアフリー化・新型低床車両導入など、すべての人にやさしい施設整備を行います。

◆安全な自転車利用環境の推進

歩道上における歩行者との交錯や迷惑駐輪による歩行環境の悪化などの課題解消を目指し、障がいのある人をはじめ市民にとって「安全な自転車利用環境の実現による魅力的なまちづくり」を目標として、自転車・歩行者・自動車それぞれが安心・安全に通行できる環境を実現するため、「自転車走行空間の明確化」、「総合的

ちゅうりんたいさく すいしん なる まな こうかてき しゅうち けいはつ はか
な駐輪対策の推進]、「ルール・マナーの効果的な周知と啓発」を図り
ます。

◆ くるまい すししょうしゃむ しえいじゅうたく せいび さいけい
車椅子利用者向け市営住宅の整備 (再掲)

⇒ 38 ページ参照

◆ ふくし しせつせいび しきんゆうし みんかん しせつかいぜん しきんかしつけきんとう
福祉のまちづくり施設整備資金融資 (民間施設改善資金貸付金等)

みんかん じぎょうしゃ こうきょうてき しせつ せいび かいぜん すいしん しょう
民間事業者による公共的施設の整備、改善を推進するため、障が
い者対応エレベーター、車いす利用者用トイレ、外部出入口の自動ド
ア設置等のバリアフリー化工事に対して、金融機関との協調融資を
おこな
行います。

【参考】 さんこう ばりあふりー ゆにばーさるでざいん
バリアフリーとユニバーサルデザイン

● ばりあふりー
バリアフリー

たてもの どうろ しょう ひと こうれいしゃ りょう
建物や道路などにおいて、障がいのある人や高齢者の利用にも
はいりよ せつけい
配慮した設計のこと。

● ゆにばーさるでざいん
ユニバーサルデザイン

しょう ひと こうれいしゃ とくべつ しょう
障がいのある人や高齢者のための特別な仕様をつくるのではな
く、さいしょ おお ひと たよう に ず はんえい たてもの
最初から多くの人の多様なニーズを反映してつくられた建物・
せいひん
製品のこと。

きほんしざく す かくほ
基本施策 2 住まいの確保

○ しょう ひと ちいき あんしん く
障がいのある人が地域で安心して暮らすことができるよう、
ぐるーぷほむ せいびとう す ば じゅうじつ はか
グループホームの整備等により住まいの場の充実を図るとと

もに、地域や住宅関係事業者等に対し、障がいのある人への理解を促進します。

重点取組

◆ あんしん貸貸支援事業の普及

民間の住宅関係事業者に対して「あんしん貸貸支援事業」の周知を行い、高齢者や障がいのある人などを受け入れる民間賃貸住宅の登録を促します。

※ あんしん貸貸支援事業

高齢者や障がいのある人、外国人及び子育て世帯に対して、入居を受け入れる民間賃貸住宅、仲介をサポートする協力店、入居者の居住支援を行っている支援団体の情報を提供することで、民間賃貸住宅探しや居住支援を行う事業。

◆ グループホーム等の整備推進（再掲）

⇒ 24 ページ参照

◆ 住宅確保要配慮者に対する居住の安定確保の取組

市営住宅抽選時の優遇や、あんしん貸貸支援事業の普及などにより、公的賃貸住宅と民間住宅の市場全体で住宅セーフティネット（安全策）を構築し、高齢者、障がいのある人など住宅確保要配慮者の居住の安定確保を目指します。

◆ 車椅子利用者向け市営住宅の整備

恒常的に車椅子を使用している障がいのある人のための住戸を、市営住宅の一部に整備します。

かんれんけいかく ぶん や せいかつかんきょう
関連計画 (分野 4 : 生活環境)

- ◆ しん さっぽろし ばり あふりー きほんこうそう
新・札幌市バリアフリー基本構想
- ◆ しん さっぽろし ばり あふりー とくていじぎょうけいかく
新・札幌市バリアフリー特定事業計画
- ◆ さっぽろし こうつうじぎょうけいえいけいかく
札幌市交通事業経営計画
- ◆ さっぽろし じゅうたくますたーぷらん
札幌市住宅マスタープラン 2011
- ◆ さっぽろし じてんしゃりようそうごうけいかく
札幌市自転車利用総合計画

げんじょう かだい
〈現状と課題〉

ふ あん かか おや しんじょう よ そ しょう げんいん
不安を抱える親の心情に寄り添いながら、障がいの原因となる
しつべい そう きはっけん そう きりょういく と く ひつよう かんが
疾病の早期発見・早期療育に取り組む必要があると考えられます。

ししょう こ ようちえん ほいくえん じどうかいかん
障がいのある子どもが、幼稚園、保育園、児童会館などにおい
ても、必要な支援を受けながら障がいのない子どもとともに過ご
せるような体制に努める必要があります。

す な ちいき がっこう ひとり に ー ず おう てき
また、住み慣れた地域の学校で、一人ひとりのニーズに応じた適
せつ しえん う かんきょう すす ひつよう かんが
切な支援が受けられる環境づくりを進める必要があると考えられ
ます。

ししょう こ ほんにん たい しえん おや たい せいしんてき
障がいのある子ども本人に対する支援のほか、親に対する精神的
ふ おる ー ペ あれんとめんたー おこな りょういくめん そう
なフォロー（ペアレントメンター（※））を行うなど、療育面での相
だん しえんたいせい じゅうじつ ひつよう いけん よ
談支援体制を充実することが必要との意見が寄せられております。

ペ あれんとめんたー
※ペアレントメンター

⇒ 23 ページ参照

へいせい ねん ど しょう じ しやじつたいとうちょう さ
〈平成 25 年度障がい児者実態等 調査から〉

こんご きょういく りょういく ちから
今後の教育や療育について力をいれるべきこと

ぎ む きょういくしゅうりょうご しんろ しゅうしょくさき かくほ しょう じちょうさ
・義務教育終了後の進路（就職先）の確保（障がい児調査
49.0%）

ししょう おう きょういくないよう じゅうじつ しょう じちょうさ
・障がいに応じた教育内容の充実（障がい児調査 45.9%）

つうじょう がっきゅう ほいくじょ ようちえん うけいれ じゅうじつ しょう じちょうさ
・通常の学級、保育所、幼稚園での受入の充実（障がい児調査
33.1%）

◆基本方針

基本方針 1 療育、教育、医療、福祉、雇用等の関係機関の連携のもと、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援体制の充実を図ります。

基本方針 2 障がいのある子どもが障がいのない子どもとともに、住み慣れた地域で、個々のニーズに応じた適切な支援が受けられる環境づくりを推進します。

◆基本施策

基本施策 1 ライフステージに応じた相談支援体制の充実

基本施策 2 早期療育の充実

基本施策 3 学校教育の充実

基本施策 4 卒業後の支援

基本施策 1 ライフステージに応じた相談支援体制の充実

○療育や教育について、家庭が抱える多様なニーズに対応した様々な相談窓口を設置し、相互に連携しながらライフステージに応じた相談支援体制の充実を図ります。

〈重点取組〉

◆幼児教育相談

発達に心配のある幼児や子育てに関して、幼児教育センターにおける来所相談のほか、各区の市立幼稚園を会場とし

ち いききょういくそうだん じっし
た「地域教育相談」を実施します。

◆一人一人が学び育つための教育的支援の充実（再掲）

⇒ 46 ページ参照

◆児童福祉相談・支援体制の強化

児童相談所の施設・設備の拡充や専門職の増員を視野に入れた機能強化を進めるほか、児童福祉に関する様々な機関との効果的な連携が図られるよう、児童相談所及び区における児童福祉相談・支援体制を強化していきます。

◆子どもの権利救済機関の運営

いじめや差別などの深刻な権利侵害だけでなく、子どもに関わる様々な悩みを受けるとともに、救済の申立て等に基づき、公的第三者の立場で、関係機関への事実確認の調査や関係者間の調整等を行います。

◆発達障害者支援体制整備事業（再掲）

⇒ 22 ページ参照

基本施策 2 早期療育の充実

○子どもの障がいの状況に応じた配慮をしながら、障がいのない子どもとともに成長していく環境づくりを進めます。

- 子ども・子育て支援法に基づく施策や母子保健施策と福祉施策の連携により、障がい児支援の体制整備を図ります。
- 児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの円滑な提供と質の確保に努めます。
- 児童発達支援センターを地域における中核的支援施設と位置付け、児童発達支援事業所等との連携による重層的な支援を推進します。
- 障害児入所施設において、虐待を受けた障がい児への対応を含め、様々なニーズへの対応を図ります。

じゅうてんとりくみ 〈重点取組〉

◆私立幼稚園特別支援教育事業

私立幼稚園で特別な教育的支援を必要とする幼児の円滑な受け入れを促進するため、幼児教育支援員が私立幼稚園を訪問し、個別の指導計画の作成支援や教育相談、特別支援担当者向け研修会を実施するなどして教育の充実を図り、適切な保育環境を提供します。

◆障がい児保育巡回指導

保育が必要な心身に障がいのある児童を、障がいのない児童とともに集団保育をすることにより、成長発達を促進するとともに児童福祉の増進を図ります。実施保育所においては、障がい児保育の充実を図るため、巡回指導を行い、必要に応じて保育者または保護者に対して指導、助言を行います。

◆放課後児童クラブ等における障がい児の受入れ

障がいのある児童の健全育成及び保護者に対する支援として、障がいのある児童を受け入れている館に指導員を加配で

きるようにするなどし、子どもの障がいに応じた配慮をしながら、障がいのない児童と同じように児童会館及びミニ児童会館を利用できる環境づくりを進めます。

また、民間児童育成会についても、保護者が就労等している障がいのある児童を登録している場合は助成金を加算するなど、各会における受入れの促進を図ります。

◆療育指導（療育支援事業、先天性障がい児早期療育事業）

発達に心配のある子どもを対象に、子どもの状態に応じた療育を実施すると同時に保護者の複雑で不安な気持ちを受け止め、障がいの気づきができるように働きかけ、個々の子どもに合った進路を共に考え必要な情報を提供します。

また、先天性障がいのある乳幼児についても、保護者の不安な気持ちを受け止め、子どもの心身の発達を促すとともに、育児全般に必要な情報の提供を行います。

◆障害児通所支援サービスの円滑な提供

児童福祉法に基づき、身近な地域における通所支援として「児童発達支援」、放課後等の居場所づくりとして「放課後等デイサービス」、保育所等の安定した利用を促進するための「保育所等訪問支援」を円滑に提供します。

◆児童発達支援センターの機能充実

児童福祉法に基づき、肢体不自由児や知的障がい児に対する身近な療育の場として機能訓練や療育指導などを行うとともに、地域の障がい児や保護者に対して支援を行います。

また、^{ち いき}地域における^{ちゅうかくてき し えん し せつ}中核的支援施設として、^{じ どうはったつ し えん じ ぎょうしよ}児童発達支援事業所
^{とう れんけい そうだん し えん き の う じゅうじつ はか}等との連携による相談・支援機能の充実を図ります。

◆^{こ はったつ し えん そうごう センター かいせつ とう}子ども発達支援総合センターの開設等

^{こ しんしん じょうきょう おう いりょう ふくし りょうめん てきせつ し えん}子どもの心身の状況に応じ、医療・福祉の両面から、適切な支援を
^{ていきょう もくてき こ しんしん いりょう センター ちゅうしん}提供することを目的に、子ども心身医療センターを中心とし、4つ
^{じ どうふくし し せつ しゅうやく こ はったつ し えん そうごう センター かいせつ}の児童福祉施設を集約した子ども発達支援総合センターを開設しま
す。

また、この^{センタ－}は、^{さっぽろ し ぜんたい じ どうりょういく かん ちゅうかく し せつ}札幌市全体の児童療育に関する中核施設
として、^{かく ち いき じ どうりょういく おこな じ ぎょうしよ とう れんけい そくしん}各地域の児童療育を行う事業所等と連携を促進しながら、
^{さっぽろ し ぜんたい じ どうりょういく き の う こうじょう め ざ}札幌市全体の児童療育機能の向上を目指します。

基本施策 3 学校教育の充実

- ^{とくべつ きょういくてき し えん ひつよう じ どうせい と ち いき がっこう まな}特別な教育的支援を必要とする児童生徒が地域の学校で学べるよう、
^{きょういくかんきょう せいび すいしん}教育環境の整備を推進します。
- ^{きょういく ふくし し せつ れんけい しゅうがく じ およ そつぎょう じ し えんたいせい}教育と福祉施策の連携により、就学時及び卒業時における支援体制
^{えんかつ い こう よう ち えん がっこう しょうがい じ つうしよ し えん じ ぎょうしよ とう れんけい はか}の円滑な移行、幼稚園・学校と障害児通所支援事業所等の連携を図
ります。
- ^{しょう こ こ おな ば とも まな}障がいのある子どもとない子どもができるだけ同じ場で共に学ぶこと
^{め ざ いんくるー し ぶ きょういく し す て む こうちく む くに とりくみ ぶ}を目指したインクルーシブ教育システム構築に向けた国の取組を踏
^{ひとりひとり きょういくてき に ー ず おう し どう ていきょう}まえつつ、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を提供できるよう、
^{た よう じゅうなん し くみ すす}多様で柔軟な仕組づくりを進めていきます。

じゅうてんとりくみ 〈重点取組〉

◆一人一人が学び育つための教育的支援の充実

とくべつ きょういくてきしえん ひつよう じどうせいと ここ ちから さいだいげん
特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、個々のもつ力を最大限
はつき さぽーとふぁいる さっぽろ ※1 や、まな
に発揮できるよう、「サポートファイルさっぽろ」(※1)や、「学び
のサポーター」(※2)の活用により一人一人に応じた教育的支援の
じゅうじつ はか
充実を図ります。

※1 サポートファイルさっぽろ

⇒ 23 ページ参照

※2 学びのサポーター

とくべつ きょういくてきしえん ひつよう じどうせいと たい きょういん ほじょ
特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、教員の補助
がっこうせいかつおよ がくしゅう おこな ひつよう しえん おこな ゆう
として、学校生活及び学習を行ううえで必要となる支援を行う有
しょうぼらんていあ
償ボランティア。

◆地域で学び育つための教育環境の整備

とくべつ きょういくてきしえん ひつよう じどうせいと きよじゅう みぢか ちいき てき
特別な教育的支援を必要とする児童生徒が居住する身近な地域で適
せつ しえん う
切な支援を受けることができるよう、特別支援学級や通級指導教室
せいび すいしん
の整備を推進します。

◆市立高等支援学校における教育の充実

しりつこうとう しえんがっこう きょういく じゅうじつ
市立高等支援学校において、就労促進を図るための教育内容の見直
しりつこうとう しえんがっこう しゅうろうそくしん はか きょういくないよう みなお
し等について検討を進めます。

◆市南部への高等支援学校の整備【新規】

しなんぶ こうとう しえんがっこう せいび しんき
市内及び近郊の高等支援学校が市北部に偏在していることに伴い、
しなんぶ ざいじゅう せいと えんきよりつうがく かいぜん へいせい
市南部に在住している生徒の遠距離通学を改善するため、平成
ねん がつ かいこう む まこまないしょうがっこうあとち こうとう しえんがっこう
29年4月の開校に向けて、真駒内小学校跡地に高等支援学校

しんちくせいび
を新築整備します。

基本施策 4 卒業後の支援

- ハローワークなどの関係機関との連携のもと、卒業後、就労につながるための支援の充実を図ります。
- 卒業後も地域で安心して生活することができるよう、福祉サービスの利用につなげるなど、相談支援体制の充実を図ります。
- 卒業後も社会生活によりよく対応できるよう、学びの機会や場の充実について検討をします。

重点取組

- ◆市立高等支援学校における教育の充実（再掲）
⇒ 46 ページ参照
- ◆就労相談支援体制の充実（障がい者就業・生活相談支援事業）（再掲）
⇒ 49 ページ参照
- ◆相談支援事業の充実（再掲）
⇒ 20 ページ参照

関連計画（分野5：教育・発達支援）

- ◆札幌市教育振興基本計画
- ◆札幌市子ども未来プラン
- ◆札幌市児童相談体制強化プラン

分野6 雇用・就労

〈現状と課題〉

障がい者雇用を促進するには、国の障がい者雇用施策を中心に、関係機関が連携して取り組む必要があります。

障がいのある人が当たり前に働けるよう、企業等に対する障がい者雇用についての情報提供の充実や、理解促進を図るなど、雇用の場の確保に向けた取組が求められています。

また、就労支援事業所などの福祉的就労の場の充実や、工賃水準の向上が求められています。

〈平成25年度障がい児者実態等調査から〉

仕事を続ける（あるいは始める）うえで必要なこと

- ・自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある

（障がい者調査 39.8%、難病患者調査 36.4%）

- ・勤務時間が調整できる（障がい者調査 25.3%、難病患者調査 40.9%）

- ・職場で仕事がしやすいよう支援してくれる（障がい者調査 28.5%）

◆基本方針

基本方針 1 障がいのある人それぞれに合った就労支援を、雇用・福祉・教育等の関係機関と連携して取り組み、支援の充実・強化を図ります。

基本方針 2 障がいのある人の一般就労への移行を推進し、雇用の定着を図るほか、福祉的就労への支援

じゅうじつ こうちんすいじゅん こうじょう はか
を充実し、工賃水準の向上を図ります。

◆基本施策

基本施策 1 ここに—ず たいおう しゅうろうそうだん し えんたいせい じゅうじつ
個々のニーズに対応した就労相談支援体制の充実

基本施策 2 こよう ば かくじゅう いっぱんしゅうろう ふくしてきしゅうろう
雇用の場の拡充（一般就労、福祉的就労）

基本施策 3 ふくしてきしゅうろう こうちんこうじょう
福祉的就労における工賃向上

基本施策 4 ふくし しせつ いっぱんしゅうろう いこうすいしん
福祉施設から一般就労への移行推進

基本施策 1 ここに—ず たいおう しゅうろうそうだん し えんたいせい じゅうじつ 個々のニーズに対応した就労相談支援体制の充実

○国の障がい者雇用推進部署（ハローワーク等）などの関係機関と連携し、障がいのある人の雇用促進に向けた相談支援体制の充実を図ります。

重点取組

◆就労相談支援体制の充実（障がい者就業・生活相談支援事業）

障がいのある人の雇用の促進と就労の安定を図るため、就業や日常生活の支援を行うとともに、ハローワーク等の関係機関と連携して、「ジョブサポーター」（※）や支援員による雇用促進・職場定着支援を図ります。

※ジョブサポーター

障がいのある人の就労支援や職場定着を図るために、職場に向いて障がいのある人や雇用主に助言などを行う支援員のこと。

◆ 障がい者就業支援事業

国との共催により、障がい者就職面接会を開催し、より多くの企業との情報交換の場を提供することにより、障がいのある人の就業活動を支援し、雇用促進を図ります。

基本施策 2 雇用の場の拡充（一般就労、福祉的就労）

○国の障がい者雇用施策と連携し、障がいのある人の雇用の場の確保に努め、就職や職場定着のための支援の充実を図ります。

重点取組

◆ 障がい者協働事業

障がいのある人を5人以上雇用し、他の従業者からサポートを受けながら共に働くことにより、事業としての収益性を確保しつつ、障がいのある人の継続した雇用の場となる「障がい者協働事業」の運営経費に対する補助を行います。

札幌市役所や札幌市社会福祉総合センター、中央図書館のロビーに設置している「元気カフェ」は、この事業を活用して運営しています。

◆ 資源選別センターにおける雇用の場の提供

容器包装廃棄物の再資源化を図るにあたり、地域福祉社会の推進に寄与することを目的に、「びん・缶・ペットボトル選別業務」に従事する一部の方に知的障がいのある人を雇用し、就労の場を提供してまいります。

◆ 就労支援サービスの円滑な提供

障害者総合支援法に基づき、一般企業等への就労を希望する人や一般企業等での就労が困難な人に、知識及び能力の向上のための必要な訓練を行う就労支援サービスを円滑に提供します。

⇒ 障がい福祉計画の部（88、89 ページ）もご覧ください。

基本施策 3 福祉的就労における工賃向上

- 障害者総合支援法の就労支援サービスのほか、札幌市独自の取組により、障がい者施設（福祉的就労）における工賃の向上を図ります。

〈重点取組〉

◆ 製品の販路拡大支援

地域活動支援センター、地域共同作業所などの運営強化等を行うために、製品のレベルアップや運営面に対する指導等を行います。

また、障がいのある人が施設等でつくった製品を販売する常設店舗として「元気ショップ」を設置運営し、製品の購入を通じた市民の障がいに対する理解促進や、障がいのある人の工賃の増額を目指します。

なお、元気ショップについては、平成26年12月に、東西線コンコースから、南北線コンコースの大通交流拠点地下広場に移転し、より多くの市民に来店してもらうことを目指します。

◆ 発注機会の拡充、受注調整支援（元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業）

障がい者施設等で行っている清掃・印刷などの役務提供

サービスや封かんなどの軽作業について、民間企業等への営業や、各施設への受注調整等を行うセンターを設置・運営し、障がいのある人の工賃向上を目指します。

◆障がい者施設等からの優先調達の推進

障害者優先調達推進法に基づいて、札幌市における障がい者施設等からの調達方針を毎年度策定し、庁内の各部局において調達を推進します。

◆元気デザイン向上事業

障がい者施設等の製品価値を向上させるため、障がい者施設等とクリエイターをマッチングし、デザイン向上の取組を支援します。

基本施策4 福祉施設から一般就労への移行推進

- 障害者総合支援法の就労移行支援サービスのほか、札幌市独自の取組により、障がいのある人の一般就労への移行を推進します。
- 障がいのある人の職場実習等の機会の充実を図ります。

〈重点取組〉

◆障がい者の就労・雇用に対する理解促進（障がい者元気スキルアップ事業）

障がいのある人の一般就労の機会を確保し、職場定着率を高めるために、障がいのある人、福祉サービス事業所（特に就労支援系）、民間企業等に対して、より充実した研修を行うなど、

しょう しゃ こよう すいしん はか
障がい者雇用の推進を図ります。

◆ しょうろう いこう しえん さーびす ていきょう
就労移行支援サービスの提供

しょうがいしゃそうごう しえんほう もと いっぱんしょうろう ひつよう ちしきおよ のう
障害者総合支援法に基づき、一般就労のために必要な知識及び能
りよくこうじょう くんれん おこな しょうろう いこう しえん さーびす えんかつ ていきょう
力向上のための訓練を行う就労移行支援サービスを円滑に提供しま
す。

⇒ しょう ふくしけいかく ぶ (88 ページ) もごらん
障がい福祉計画の部 (88 ページ) もご覧ください。

◆ しょうろう む くんれん しょうろうたいけん
就労に向けた訓練・就労体験

さっぽろ しやくしよ し ない とくべつ しえんがっこう せいと う い
札幌市役所において、市内の特別支援学校から生徒を受け入れて、
しょう ば じっしゅうしょうろうたいけん きかい もう しょうろう む しえん おこな
職場実習・就労体験の機会を設け、就労に向けた支援を行います。

ぶんや じょうほう こみゅにけーしょん
分野7 情報・コミュニケーション

げんじょう かだい
〈現状と課題〉

しょう とうせい はいりよ ほうほう じょうほうていきょう いし そつうしえん
障がいの特性に配慮した方法による情報提供、意思疎通支援が
もと
求められています。

しょう とうじしゃみずか ふくし さーびす せんたく ふくし
障がい当事者自らが福祉サービスを選択できるように、福祉に
かん じょうほうていきょうじゅうじつ ひつよう
関する情報提供を充実する必要があります。

きほんほうしん
◆基本方針

きほんほうしん じょうほう ばりあふりーか すいしん しょう とうせい おう じょう
基本方針 1 情報バリアフリー化を推進し、障がい特性に応じた情
ほうていきょう いし そつうしえん じゅうじつ ほか じりつ しゃかいさんか
報提供や意思疎通支援の充実を図り、自立と社会参加
しえん
を支援します。

きほんしざく
◆基本施策

きほんしざく じょうほう ばりあふりーか すいしん
基本施策 1 情報バリアフリー化の推進

きほんしざく じょうほうていきょうじゅうじつ
基本施策 2 情報提供の充実

きほんしざく いし そつうしえんたいせい じゅうじつ
基本施策 3 意思疎通支援体制の充実

きほんしざく じょうほう ばりあふりーか すいしん
基本施策 1 情報バリアフリー化の推進

しょう ひと ししょう じょうほうでんたつ じょうほうしゅとく てんじ
○障がいのある人が支障なく情報伝達や情報取得ができるよう、点字や
おんせい かくだい もじ かんじ るび じょうほうつうしん こみゅにけーしょん
音声、拡大文字、漢字へのルビふり、情報通信やコミュニケーション
しえんぼーど かつよう しょう とうせい おう はいりよ つと
支援ボードの活用など、障がい特性に応じた配慮に努めます。

※情報バリアフリー

だれ ひと じょうほうつうしん ゆうこう りよう かんきょう
誰もが等しく情報通信を有効利用できる環境をつくること。

じゅうてんとりくみ 〈重点取組〉

◆補装具費の支給、日常生活用具の給付（再掲）

⇒ 25 ページ参照

◆障がいのある人の情報通信に関する支援（障がい者 I T サポートセンター）

障がいのある人の情報通信技術の利用機会や活用能力の格差是正を図るための総合的なサービス提供拠点として、「障がい者 I T サポートセンター」を設置し、自立と社会参加を促進することを目的に、I T に関する利用相談や情報提供、パソコン講習の開催、パソコンボランティアの養成及び派遣を行います。

◆選挙における配慮（再掲）

⇒ 74 ページ参照

◆会議等における配慮（再掲）

⇒ 74 ページ参照

○冊子、音声、ホームページなど、様々な手段・媒体を活用し、障がい特性に配慮した情報提供の充実に努めます。

重点取組

◆ 広報誌、広報番組、ホームページなどを通じた広報（再掲）

⇒ 14 ページ参照

◆ 札幌市公式ホームページの管理運営

障がいのある人がホームページから情報を得やすいよう、アクセシビリティ（使いやすさ）の更なる向上を図るなど、ホームページ全体の使い勝手の向上に努めます。

◆ 福祉ガイド等の作成・配布、各種相談窓口の紹介（再掲）

⇒ 71 ページ参照

◆ 点字・音声による情報提供

視覚に障がいのある人のために、広報さっぽろの点字版「点字さっぽろ」、録音版「声のさっぽろ」を発行するなど、市政情報の点字・音声による情報提供の充実に努めます。

◆ 様々な障がいに配慮した情報提供

特に、障がい福祉に関するパンフレットやガイドブックなどは、分かりやすい表現に心がけ、漢字へのルビ、専門用語等への注釈、二次元コードを付けるなど、読みやすくする工夫に努めます。

○障がい特性に応じた意思疎通支援体制の充実に努めます。

重点取組

意思疎通支援事業の円滑な提供

障害者総合支援法に基づく意思疎通支援について、適正かつ円滑なサービス提供に努めます。

⇒ 障がい福祉計画の部（102ページ）もご覧ください。

テレビ電話を活用した消費生活相談

聴覚障がいのある人が消費生活相談に訪れた場合に、テレビ電話を利用し手話通訳者を介して相談を行うことで、迅速な対応を図ります。

障 害福祉サービス事業 所等に関する空き情報の紹介について

市内所在の障害福祉サービス事業 所等に関する空き情報をホームページで紹介することで、障がいのある人が事業所を選択する際の利便性の向上を図ります。

ホームページの運用については、各サービス提供事業所において情報を随時更新していただくなど、各サービス提供事業所の協力を得ております。

空き情報は、キーワード、事業所番号、法人名又は事業所名、事業所の所在区、サービスの種類など、様々な条件で検索することができます。

愛称 元気さーち

ホームページアドレス <http://www.sapporo-akijoho.jp/>

分野 8 スポーツ・文化

〈現状と課題〉

みづか い し せんたく じんせい せいちょう かに
自らの意思と選択によって、人生のあらゆる成長過程で、それ
ひと きょう み かんしん せいかつりょういき おう かつどう がく
ぞれの人の興味・関心や生活領域に応じ、さまざまな活動や学
しゅう つづ じゅうよう
習を続けていくことが重要です。

しょう ひと す ぽ ー つ ぶん かげいじゅつかつどうとう おこな さい ひとつ
障がいのある人がスポーツや文化芸術活動等を行う際には、必
よう はいりよ し えんとう ていきょう かんきょう せい び もと
要となる配慮や支援等が提供されるための環境の整備が求められ
ています。また、かつどう つう しょう ひと しょう
活動を通じて、障がいのある人と障がいのない
ひと こうりゅう しょう ひと たい り かい ふか じゅうよう
人が交流し、障がいのある人に対する理解を深めることが重要で
す。

◆基本方針

き ほん ほう しん
基本方針 1 す ぽ ー つ ぶん かげいじゅつかつどうとう つう しょう ひと
スポーツや文化芸術活動等を通じて、障がいのある人
しょう ひと こうりゅう きかい じゅうじつ しょう
と障がいのない人との交流の機会を充実し、障がいの
ひと たい り かいそくしん ほか
ある人に対する理解促進を図ります。

き ほん ほう しん
基本方針 2 しょう しゃ す ぽ ー つ しょう しゃ ぶん かげいじゅつかつどう し えん
障がい者スポーツ、障がい者の文化芸術活動を支援し、
こころゆた ち いきせいかつ し えん
心豊かな地域生活を支援します。

◆基本施策

き ほん し さく
基本施策 1 す ぽ ー つ ぶん かげいじゅつかつどう しょうがいがくしゅうかつどう たい し えん
スポーツ・文化芸術活動・生涯学習活動に対する支援

○障がいのある人がスポーツや文化芸術活動に気軽に参加できるよう、施設のバリアフリー化や活動機会の充実に努めます。

重点取組

◆障がい者スポーツの振興

障害者スポーツ指導員の養成やスポーツ教室、クラブの紹介など、障がい者スポーツ団体が行う活動を支援することにより、障がい者スポーツの普及・振興を促進します。

◆障がい者スポーツ大会の開催

札幌市障がい者スポーツ大会を開催し、障がいのある人がスポーツを通じて、体力の向上や自立更生への意欲を高めるとともに、市民の障がいのある人に関する理解促進を図ります。

◆既存体育施設のバリアフリー化の推進

障がいのある人が広く気軽にスポーツ施設を利用できるようにするため、エレベーターの設置及び身障者用多目的トイレへの改修を行います。

◆さっぽろ市民カレッジ

総合的、継続的な学習機会を市民に提供するとともに、学習成果が評価され、社会に生かされる仕組みをつくることにより、市民の自主的な学びや社会参加を支援し、本市のまちづくりを促進します。

◆文化芸術活動に対する支援

市民誰もが様々な場面において、文化芸術に触れる機会の充実や、文化芸術活動に対する支援など、文化芸術振興のための環境づくりを進めます。

◆障がいのある人を支援する読書サービスの検討

身体障がいや発達障がいなど、様々な障がいのある人を支援するための読書サービスや図書館施設のあり方について検討を行います。

◆知的障がい者のための成人学級事業

特別支援学校または中学校の特別支援学級などを修了し、社会参加しているまたはしようとする人を対象に、一般社会知識の習得や体力づくり、人間関係等、集団生活や体験の場を通して社会生活によりよく対応できる人間形成を目指し、実生活に即した学習を行います。

◆特別支援学校・地域連携事業

学校休業日に特別支援学校の学校施設を活用し、児童・生徒の特性に応じた活動を促す場を提供することを目的として、各種行事の開催やボランティアグループとの交流等を行います。

◆札幌市健康づくりセンターの利用促進

障がいのある人が健康づくりに取り組む機会を提供するため、札幌市健康づくりセンターの利用を促すとともに、運動指導員や理学療法士による健康づくりの支援を行います。

かんれんけいかく ぶん や す ぽ ー つ ぶん か
関連計画 (分野 8 : スポーツ・文化)

◆ さっぽろ し しょうがいがくしゅうすいしんこうそう
札幌市生涯学習推進構想

◆ さっぽろ し ぶん か げいじゅつ き ほんけいかく
札幌市文化芸術基本計画

◆ さっぽろ し こ どくしよすいしんけいかく
札幌市子どもの読書推進計画

◆ けんこう さっぽろ 21
健康さっぽろ 21

◆ さっぽろ し す ぽ ー つ すいしんけいかく
札幌市スポーツ推進計画

げんじょう かだい
〈現状と課題〉

へいせい ねん がつ ほっせい ひがし に ほんだいしんさい けいき さいがいじ
平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災を契機として、災害時
あんぜんたいさく かんしん たか しょう ひと
の安全対策についての関心が高まっており、障がいのある人をは
じめようしえんしゃ ひなんしえん とりくみ じゅうじつ ひつよう
じめ要支援者の避難支援の取組を充実する必要があります。

また、しょう ひと とうきかん あんしん がいしゅつ じよ
また、障がいのある人が冬期間も安心して外出できるよう、除
はいせつ とりくみ じゅうよう
排雪などの取組も重要となります。

さらに、ち いき みまも ささ あ つう しょう
さらに、地域の見守りや支え合いなどを通じて、障がいのある
ひと こりつ ぶせ かんきょう ひつよう
人の孤立を防ぐ環境をつくる必要があります。

へいせい ねん ど しょう じ しゃじつたいとうちよう さ
〈平成 25 年度障がい児者実態等 調査から〉

ぼうさい かん ぶ あん かん
防災に関して不安に感じること

- ひ なん ば しょ せいかつ ぶ あん しょう しゃちよう さ
・ 避難場所でうまく生活できるか不安（障がい者調査 53.7%、
しょう じ ちよう さ なんびょうかんじゃちよう さ
障がい児調査 71.4%、難病患者調査 65.2%）
- さいがいじ てだす ひと しょう しゃちよう さ
・ 災害時に手助けしてくれる人がいない（障がい者調査
しょう じ ちよう さ なんびょうかんじゃちよう さ
20.7%、障がい児調査 32.4%、難病患者調査 29.2%）

き ほんほうしん
◆基本方針

き ほんほうしん しょう ひと ち いき あんぜん あんしん せいかつ
基本方針 1 障がいのある人が地域で安全・安心に生活す
ることができるよう、ぼうさいたいさく さいがいじ
ける要配慮者対策を推進します。

き ほんほうしん しょう ひと ち いき こりつ ち
基本方針 2 障がいのある人が地域で孤立しないよう、地
いき きょうじよ じゅうそうてき みまも たいせい こうちく
域の共助による重層的な見守り体制を構築し
ます。

◆ 基本施策

基本施策 1 災害や雪に強いまちづくりの推進

基本施策 2 災害時における支援の推進

基本施策 3 地域における見守り活動の推進

基本施策 4 消費者被害の防止

基本施策 1 災害や雪に強いまちづくりの推進

○市民の生命や財産を守り、災害に強いまちづくりをすすめ、大災害にも対応する防災体制の確立を目指します。

○冬期間も安心して生活を送れるよう、除排雪や福祉除雪など雪対策の取組を促進します。

重点取組

◆ 社会福祉施設等の安全対策の推進

社会福祉施設における安全・安心を確保するため、消防局・保健福祉局・都市局の関係部局の連絡協議の場として「札幌市グループホーム等安全安心連絡協議会」において、情報交換を図りながら、施設関係者を対象とした研修会の実施、合同立入検査等を実施するほか、訓練チェックリストを活用した自衛消防訓練の実施など、さらなる安全・安心に向けての取組を推進します。

◆ 障がい児者施設の修繕等に対する支援の検討

入所施設等の居住の安全を図るための施設修繕等に対し支援を行うことを検討します。

◆ 住宅防火対策の推進

関係部局や福祉事業従事者と連携した研修会等の実施、住宅用消火器や住宅用火災警報器の設置及び維持管理に係る普及啓発等、住宅防火対策を推進します。

◆ 冬のみちづくりプランの推進

市民・企業等との協働の推進、多様なソフト施策の導入、施策の選択と集中によるメリハリをつけた事業の展開を基本方針として、障がいのある人も安心して生活を送れるよう、雪対策を推進します。

身近な取組の一例としては、凍結防止剤等の散布、砂箱の設置、砂入りペットボトルの作成・配置などを行います。

◆ 福祉除雪の実施

自力で除雪が困難な一戸建て住宅の高齢者や障がいのある人の世帯を対象に、地域の協力を得ながら間口部分等の除雪を支援します。

基本施策 2 災害時における支援の推進

- 災害時における、障がいのある人などへの避難支援に関する仕組みづくりを促進します。
- 避難場所について、バリアフリー化や、静かに過ごすことのできる空間の確保など、障がいのある人に配慮した環境の整備を進めます。
- 災害発生時や避難場所において、さまざまな障がい特性に応じた配慮や支援ができるよう、障がいのある人への理解促進を図ります。

じゅうてんとりくみ 〈重点取組〉

◆災害時における避難支援の仕組みづくり

さいがいじ ひなんしえん しく
災害時に自力では避難できない障がいのある人や高齢者などの手助けを、地域が主体となって実施する仕組みづくりを促進します。

さいがいたいさく きほんほう もと ひなんこうどうよう しえんしゃめいぼ せいび
さらに、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者名簿の整備を進めるとともに、運用方法について早急に検討を進めます。

あわ さいがい はっせい ばあい かんけいだんたいとう れんけい かくし
併せて、災害が発生した場合には、関係団体等との連携により各施設の状況及び避難した障がいのある人の把握を行うことや、避難後は、障がいのある人への情報提供、ニーズを把握し、ボランティアや避難者に支援を要請するとともに、収容避難場所での生活が困難な人を社会福祉施設等に移送するなどの支援体制の構築を推進します。

◆避難場所の環境整備の推進

さっぽろし ひなんばしよ きほんけいかく もと いちりつしょうちゅうがっこう だいきぼかい
「札幌市避難場所基本計画」に基づき、市立小中学校の大規模改修・改築に併せて、玄関スロープや車いす対応トイレの設置など、避難場所の環境整備を推進します。

◆障がいのある人の避難訓練等への参加促進

さいがいじ ひなんしえん しく
災害時において、障がいのある人が自らできることや、周りの人が手助けできることなどを確認するため、障がいのある人に対し、地域等で行われている避難訓練等への参加を促進します。

◆災害時の緊急受入れに関する関係機関との協定

かんけいきかん きょうてい ていけつ じしん ふうすいがいとう だいきぼ さいがい はっせい
関係機関と協定を締結し、地震、風水害等の大規模な災害が発生した場合に、避難所での生活の継続が困難な障がいのある人などを、民間の障害者支援施設等へ受け入れる体制を構築します。

○障がいのある人の地域における孤立を防ぐため、住民組織などによる地域福祉活動の充実を図ります。

重点取組

◆知的障がいのある人の見守り事業

障害福祉サービスを受けていない知的障がいのある人の現況を把握し、福祉ガイドを活用したサービス等の利用案内や、民生委員などと協力して見守り活動を実施することで、地域や福祉サービスとのつながりを拡大・強化するとともに、市民の知的障がいに対する理解を深めます。

◆相談支援事業の充実（再掲）

⇒ 20 ページ参照

◆企業などとの連携推進

多様な社会資源を地域の見守りに活用するため、宅配事業者などとの見守り協定の締結を推進するとともに、企業やNPOなどが事業活動の中で要支援者の異変を発見した際の確認・通報体制の充実を図ります。

○障がいのある人の消費者被害の防止のため、関係機関との連携による早期発見や、相談体制の充実に努めます。

重点取組

◆消費者被害防止ネットワーク事業

消費生活推進員を地域に配置し、関係機関とのネットワーク体制により、高齢者や障がいのある人の消費者被害の早期発見と救済、未然防止を図ります。

◆テレビ電話を活用した消費生活相談（再掲）

⇒ 57 ページ参照

◆権利擁護等に係る相談支援の充実（再掲）

⇒ 70 ページ参照

かんれんけいかく ぶん や あんぜん あんしん
関連計画 (分野 9 : 安全・安心)

◆ さっぽろ し ふゆ づら ん
札幌市冬のみちづくりプラン

◆ さっぽろ し ち いきぼうさいけいかく
札幌市地域防災計画

◆ さっぽろ し ひ なん ぼ しょ き ほんけいかく さっぽろ し ひ なん ぼ しょ き ほんけいかくじっし づら ん
札幌市避難場所基本計画、札幌市避難場所基本計画実施プラン

◆ さっぽろ し さいがい じ ようえん ご しゃたいさく ひ なん し えん が い ど ら い ん
札幌市災害時要援護者対策避難支援ガイドライン

◆ さっぽろ し ち いきふく し しゃかいけいかく
札幌市地域福祉社会計画

◆ さっぽろ し しょう ひ しゃ き ほんけいかく
札幌市消費者基本計画

分野 10 差別の解消・権利擁護

〈現状と課題〉

平成 25 年 6 月、障害者差別解消法が公布され、平成 28 年 4 月に施行されます。この法律により行政機関等や民間事業者に障がい理由とする差別的取扱いが禁止されるとともに、障がいのある人が必要とする社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮が求められます。

また、障がいのある人に対する虐待の防止や早期発見のため、通報・相談体制を充実するとともに、虐待が起こった時には、関係機関等との連携による適切な支援を行っていく必要があります。

◆基本方針

基本方針 1 障害者基本法及び障害者差別解消法に基づき、障がいを理由とする差別の解消の推進に取り組みます。

基本方針 2 障害者虐待防止法に基づく障がい者虐待の防止等、障がいのある人の権利擁護を進めます。

◆基本施策

基本施策 1 障がいを理由とする差別の解消

基本施策 2 権利擁護等の推進

基本施策 3 障がい者虐待防止の推進

基本施策 1 障がい者を理由とする差別の解消

- 国の基本方針に基づき、障害者差別解消法の円滑な施行に向けた準備を進めるとともに、施行後の適切な運用に努めます。
- 障害者差別解消法の啓発・広報に努め、市民や民間事業者等の理解を促進します。

重点取組

◆障害者差別解消法の円滑な施行【新規】

国の基本方針等に基づき、職員対応要領や相談体制の整備等を進め、障がいのある人の差別の解消の推進と、合理的配慮の提供に取り組みます。

基本施策 2 権利擁護等の推進

- 各種の相談窓口の紹介など権利擁護に係る啓発・広報に努めます。
- 障害者基本法、北海道障がい者条例など制度の普及を図り、障がいのある人に対する権利擁護に係る啓発に努めます。

重点取組

◆権利擁護等に係る相談支援の充実

障がい者あんしん相談運営事業、成年後見制度利用支援事業の一層の推進により、障がいのある人の権利擁護のための相談支援体制の強化を図ります。

◆北海道障がい者条例の普及

北海道や関係機関と連携し、障がいのある人の権利の擁護と障がいのある人が暮らしやすい地域づくりの推進を図るために制定された「北海道障がい者条例」の普及に努め、地域における権利擁護を含めた相談体制の充実を図ります。

◆福祉ガイド等の作成・配布、各種相談窓口の紹介

福祉ガイド等を作成・配布し、権利擁護に関する窓口を紹介するほか、権利擁護に係る啓発・広報に努めます。

◆障がい当事者等の意見反映

障がいのある人をはじめ、広く市民の意見が市政に反映されるよう、「障がい者によるまちづくりサポーター制度」など、市民の声を聴く機会の充実を図ります。

◆子どもの権利救済機関の運営（再掲）

⇒ 42 ページ参照

【参考】北海道障がい者条例について

「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例」（略称：北海道障がい者条例）は、障がいがあっても安心して地域で暮らすことのできる社会づくりを目指し、障がいのある人の権利擁護と暮らしやすい地域づくりを推進するための条例です。

おも し さく はしら つぎ
主な施策の柱は次の3つです。

1 障がいのある人の暮らしやすい「地域づくり」を進めます

2 地域で生き生きと暮らせるよう働く障がい者を応援します

3 障がいのある人の虐待や差別等をなくし、権利擁護を進めます

札幌市におきましても、北海道障がい者条例に基づき、障がいの
ある人も障がいのない人も、共に暮らしやすいまちづくりを目指し
ていきます。

基本施策3 障がい者虐待防止の推進

- 障害者虐待防止法に係る啓発・広報に努めるとともに、障がい者
虐待に関する相談体制の充実及び関係機関との連携による適切な支
援を進めます。

重点取組

障がい者虐待防止対策等の推進

障害者虐待防止法に基づき、障がい者虐待相談窓口において虐待
通報・相談の受付を行うとともに、夜間・休日における緊急連絡先
を設置することにより、24時間365日での通報受付を行います。

また、通報受付後は、相談支援事業所をはじめとする関係機関と
の連携により、適切な支援を行うとともに、緊急一時保護が必要な
事案については、市内の入所施設等との連携により、速やかな保護を
行います。

その他、セミナー等の開催、啓発リーフレットの配布等によ
り、障がい者虐待防止に関する普及・啓発を行い、虐待予防
や早期発見に努めます。

ぶん や ぎょうせい さ - び す はいりよ
分野 11 行政サービスにおける配慮

げんじょう か だい
〈現状と課題〉

へいせい ねん がつ し こう しょうがいしゃ さ べつかいしょうほう しょう
平成 28 年 4 月に施行される障害者差別解消法により、障がいの
ひと ひつよう しゃかいてきしょうへき じょきよ じっし ぎょうせい き かんとう
ある人が必要とする社会的障壁の除去の実施について、行政機関等
ひつよう ごうりてき はいりよ おこな ほうてき ぎ む
が必要かつ合理的な配慮を行うことは、法的な義務となります。

しよくいん しょう しゃりかい そくしん つと まどぐちとう しょう
職員の障がい者理解の促進に努めるとともに、窓口等における障
がいのあるひと はいりよ てってい じょうほうていきようじゅうじつ はか ひつよう
がいのある人への配慮の徹底や情報提供の充実を図る必要があります。

き ほんほうしん
◆基本方針

き ほんほうしん ぎょうせい さ - び す ていきょうとう しょう とくせい おう
基本方針 1 行政サービスの提供等にあたっては、障がい特性に応
じ たごうりてき はいりよ おこな
じた合理的な配慮を行います。

き ほんし さく
◆基本施策

き ほんし さく ぎょうせい さ - び す はいりよ
基本施策 1 行政サービスにおける配慮

き ほんし さく じょうほうていきようじゅうじつ さいけい
基本施策 2 情報提供の充実（再掲）

き ほんし さく ぎょうせい さ - び す はいりよ
基本施策 1 行政サービスにおける配慮

- ぎょうせい さ - び す ていきょうとう しよくいん しょう ひと り
○ 行政サービスの提供等にあたっては、職員が障がいのある人への理
かい ぶか ごうりてき はいりよ おこな
解を深め、合理的な配慮を行います。

じゅうてんとりくみ
〈重点取組〉

◆ 職員に対する障がい者理解の促進【新規】

研修等を通じ、職員に対する障がい者理解の促進に努めるとともに、窓口等における障がいのある人への配慮の徹底を図ります。

また、職員によって説明や配慮のしかたに隔たりが生じないように努めます。

◆ 選挙における配慮

札幌市議会議員選挙では候補者等を紹介した点字版の選挙のお知らせを、札幌市長選挙では選挙公報全文を点訳した選挙のお知らせ・音読した音声版を、関係世帯に配布します。

また、投票所における介添えや、点字の候補者名簿・点字器・老眼鏡・文鎖等の常備など、障がいのある人に配慮した投票環境を整備するとともに、成年被後見人の選挙権の回復等を行う公職選挙法の改正を踏まえ、選挙人が自らの意思に基づき投票できるよう、様々な配慮を行います。

◆ 会議等における配慮

障がい当事者が参加する会議等においては、障がい種別に応じた情報提供やコミュニケーションに配慮するよう努めます。

◆ テレビ電話を活用した消費生活相談（再掲）

⇒ 57 ページ参照

基本施策 2

情報提供の充実（再掲）

⇒ 56 ページ参照